

授業科目 スポーツ・健康

【担当教員名】  埜 佐敏 他	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期・後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
		◎	○	◎

【概要・一般目標：GI0】  
生涯にわたって自らの心身の安定を図るため、ストレッチング等を生活の中に生かすことができるようにする。また、医療・福祉・保健のQOLサポーターとしての資質向上を目指し、車椅子バスケットボール等を通して通してスポーツとのかかわり方を学習する。

- 【学習目標・行動目標：SB0】
1. 医療・福祉・保健のプロフェッショナルとして、自らのスポーツ・運動の必要性について理解する。
  2. ストレッチングの実施方法を理解し、自分にあった内容や方法を体得する。
  3. 施設・用具・器具の使い方を理解し、安全に留意してセッティングや後始末を協力して行う。
  4. みんなでゲームを楽しむためのルールを考え、ゲームの進め方を理解する。
  5. トレーニングセンターの安全な利用法を習得できる。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション、本講座のねらい、授業の進め方、スポーツや健康の総括的な意義、ストレッチングの方法理解	1	講義・実技
2	準備運動、ソフトバレーボールの基本と練習方法の理解、グルーピング、簡易試合	2,3	講義・実習
3	準備運動、ソフトバレーボール、グループ練習、リーグ戦1	2,3	講義・実習
4	準備運動、ソフトバレーボール、グループ練習、リーグ戦2	2,3,4	講義・実習
5	準備運動、ソフトバレーボール、グループ練習、リーグ戦3	2,3,4	講義・実習
6	準備運動、ソフトバレーボール、グループ練習、リーグ戦4	2,3,4	講義・実習
7	準備運動、ソフトバレーボール、グループ練習、リーグ戦5	2,3,4	講義・実習
8	トレーニングセンター利用講習会	5	講義・実習
9	車椅子バスケットボールの基本と練習方法の理解、グルーピング、簡易ゲーム	2,3	講義・実習
10	準備運動、車椅子バスケットボール、グループ練習、リーグ戦1	2,3	講義・実習
11	準備運動、車椅子バスケットボール、グループ練習、リーグ戦2	2,3,4	講義・実習
12	準備運動、車椅子バスケットボール、グループ練習、リーグ戦3	2,3,4	講義・実習
13	準備運動、車椅子バスケットボール、グループ練習、リーグ戦4	2,3,4	講義・実習
14	準備運動、車椅子バスケットボール、グループ練習、リーグ戦5	2,3,4	講義・実習
15	個人、グループ、全体総括、授業評価	1	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況、授業態度、レポート等を参考に総合的に評価する	【履修上の留意点】 ・施設使用の状況により、ソフトバドミントンと車椅子バスケットボールの順序を入れ替えることがある。 ・A4版個人用ファイル（体育用）を準備すること。
---------------------------------------	---